

問1 職人の（ ）が込んだ工芸品は素晴らしい。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 足 2. 手 3. 目 4. 頭

問2 「歯が浮く」の意味はどれですか？

1. 軽薄な言動やキザな様子に不快感や気恥ずかしさを覚える
2. 緊張して言葉がうまく出てこなくなる
3. 嬉しくてじっとしていらなくなる
4. 相手の言葉に納得できず反発したくなる

問3 「目をかすめる」の意味はどれですか？

1. 相手の目をじっと見て、嘘を見抜こうとする
2. まぶしい光を見て、思わず目を閉じてしまう
3. 人の見ていない隙を見て、隠れて何かをする
4. 非常に素早い動きで、相手の視界から消える

問4 「肩を貸す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. ダンスの練習で、パートナーに肩を貸して回転した。
2. 荷物が重いので、少しの間だけ肩を貸してほしい。
3. 疲れて眠いので、隣の人の肩を貸して休ませてもらう。
4. 怪我をした友人に肩を貸して、保健室まで連れて行った。

問5 ついに私のところに（ ）が回ってきた。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. お椀 2. お鉢 3. お盆 4. お皿

問6 「音沙汰がない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 転校した友人から、その後音沙汰がない。
2. 部屋の中は静かで音沙汰がない。
3. 彼は忙しくて音沙汰がないふりをしている。
4. 街中が静まり返り、音沙汰がない状態だ。

問7 「眉をひそめる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 眉をひそめて、遠くの景色をじっくりと眺めた。
2. 眉をひそめるほど、その料理はとても辛かった。
3. 身勝手な振る舞いに、多くの人が眉をひそめた。
4. 彼は眉をひそめて、鏡で自分の顔をチェックした。

問8 「熱を上げる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. ストープに熱を上げて部屋を暖かくした。
2. マラソンで熱を上げて体調を崩してしまった。
3. 彼は最近、地元のサッカーチームに熱を上げている。
4. 料理の火力を熱を上げて強火に調節した。

問9 「顔向けできない」の意味はどれですか？

1. 恥ずべきことをして、相手に合わせる顔がないこと
2. 相手との関係が絶たれてしまい、会う機会がないこと
3. 相手に対して非常に怒っており、会いたくないこと
4. 自分の失敗を隠すために、人前に出られないこと

問10 「気を紛らわす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 試験の準備で気を紛らわすほど、忙しい日々を送る。
2. 悲しい気持ちを忘れるために、読書をして気を紛らわす。
3. 彼は気を紛らわすのが得意で、すぐに人を怒らせる。
4. 気を紛らわすために、わざと大きな音を立てて歩いた。

問11 「身の置き所がない」の意味はどれですか？

1. 座る場所がなくて困っている
2. 自分の家がなくて困っている
3. どこへ行っても仕事が見つからない
4. 恥ずかしさや居心地の悪さで困る

問12 わずかな収入でなんとか（ ）を糊している。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻 2. 目 3. 耳 4. 口

問13 「身に余る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. このような素晴らしい賞をいただき、身に余る光栄です。
2. 身に余る服を着ていると、周囲から浮いてしまう。
3. 彼は身に余る仕事を引き受けてしまい、過労で倒れた。
4. 身に余るほどたくさんの荷物を抱えて歩くのは大変だ。

問14 今回の成功は彼のおかげなので、最後は彼に（ ）を持たせる。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 実 2. 花 3. 木 4. 葉

問15 「腹を割る」の意味はどれですか？

1. 自分の非を認めて相手に深く謝罪する
2. 相手の弱みにつけ込んで無理難題を押し付ける
3. 隠し事をせず、ありのままの気持ちを打ち明ける
4. 決死の覚悟で困難な状況に立ち向かう

問16 「天秤にかける」の意味はどれですか？

1. 二つ以上の事柄を比較し、どちらが良いか検討する
2. 二つの意見を戦わせて、勝敗を決める
3. 相手の出方をうかがって、自分の利益を優先する
4. 重さを正確に測って、公平に分配する



慣用句(上級)プリント28 答え合わせ・解説

問1 答え 2 手

「手が込む」の「手」が入ります。意味は「細部まで念入りに作られていて、複雑である」です。

問2 答え 1 軽薄な言動やキザな様子に不快感や気恥ずかしさを覚える

「歯が浮く」は、軽薄なお世辞やキザな言動を聞いて、不快感や気恥ずかしさを覚えるという意味です。

問3 答え 3 人の見ていない隙を見て、隠れて何かをする

「目をかすめる」は「人の見ていない隙を見て、隠れて何かをする」という意味です。

問4 答え 4 怪我をした友人に肩を貸して、保健室まで連れて行った。

「肩を貸す」の正しい使い方は「怪我をした友人に肩を貸して、保健室まで連れて行った。」です。意味は「歩くのが困難な人の脇に寄り添い、支えて歩くのを助ける」です。

問5 答え 2 お鉢

「お鉢が回る」の「お鉢」の部分が入ります。意味は「順送りに役目や順番が自分に回ってくること」です。

問6 答え 1 転校した友人から、その後音沙汰がない。

「音沙汰がない」の正しい使い方は「転校した友人から、その後音沙汰がない。」です。意味は「便りや連絡が全くない」です。

問7 答え 3 身勝手な振る舞いに、多くの人が眉をひそめた。

「眉をひそめる」の正しい使い方は「身勝手な振る舞いに、多くの人が眉をひそめた。」です。意味は「不快感や心配事のために顔をしかめる」です。

問8 答え 3 彼は最近、地元のサッカーチームに熱を上げている。

「熱を上げる」の正しい使い方は「彼は最近、地元のサッカーチームに熱を上げている。」です。意味は「ある物事に夢中になってのめり込む」です。

問9 答え 1 恥ずべきことをして、相手に合わせる顔がないこと

「顔向けできない」は「恥ずべきことをして、相手に合わせる顔がないこと」という意味です。

問10 答え 2 悲しい気持ちを忘れるために、読書をして気を紛らわす。

「気を紛らわす」の正しい使い方は「悲しい気持ちを忘れるために、読書をして気を紛らわす。」です。意味は「他のことをして、苦しい気持ちや退屈な気分をそらすこと」です。

問11 答え 4 恥ずかしさや居心地の悪さで困る

「身の置き所がない」は「恥ずかしさや居心地の悪さで困る」という意味です。

問12 答え 4 口

「口を糊する（くちをのりする）」の「口」が入ります。意味は「貧しいながらも、なんとか生計（生活）を立てる」ことです。

問13 答え 1 このような素晴らしい賞をいただき、身に余る光栄です。

「身に余る」の正しい使い方は「このような素晴らしい賞をいただき、身に余る光栄です。」です。意味は「自分にはもったいないほどである」です。

問14 答え 2 花

「花を持たせる」の「花」の部分が入ります。意味は「相手を立てて、功績や名誉を譲る」です。

問15 答え 3 隠し事をせず、ありのままの気持ちを打ち明ける

「腹を割る」は「隠し事をせず、ありのままの気持ちを打ち明ける」という意味です。

問16 答え 1 二つ以上の事柄を比較して、どちらが良いか検討する

「天秤にかける」は「二つ以上の事柄を比較して、どちらが良いか検討する」という意味です。